

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年8月9日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672700095
法人名	医療法人 蒼風会
事業所名	高齢者グループホームりんどう
所在地	鹿児島県南九州市川辺町平山6910番地 (電話) 0993-56-4976
自己評価作成日	令和3年7月9日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NP0さつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和3年8月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体は精神科病院で認知症を疾病とする方々へ専門的な医療が提供されている。医療連携体制加算や定期受診が行われ、内科・歯科の協力医療機関の体制も確保され医療連携体制が常時整っている。

法人の理念、「つながりがやすらぎ」に沿って、心得を大切にし、また各部署との連携体制も整っている。

りんどう近隣に市役所、消防署があり協力をもらいやすく、商店街、郵便局、図書館もあり利便性が高く、自治会に加入しており地域交流に繋げている。

りんどうの2階は法人職員の賃貸住宅で連携や協力を得られるように取り組んでいる。

職員は介護職に長期従事し介護福祉士として職務に取り組んでいる。各居室にトイレ、洗面所が設置されており、プライバシーが守られている。今年21年目を迎え、理念を意識して、入居者ご家族が安心して、過ごせるよう職員間で協力しながらケアに努めている。

ホームは、南九州市川辺地区の中心街に平成12年に設置され、2階建ての1階部分を使用している。2階は法人職員の宿舎となっており、入居者とは災害時の協力体制を書面で交わして構築している。周辺には市役所支所や消防署、小・中学校、高等学校、医療機関、金融機関、商店等があり利便性は十分で、幹線道路から少し入っているため騒音等は無く、静かで落ち着いた環境である。地域密着型サービス事業所として地域住民に周知され、地域との協力関係や日常的な交流が密に図られる関係が築かれているが、新型コロナウイルス感染症の予防に配慮して、現在は地域のイベントへの参加や友人知人の来訪、ボランティアや施設見学の受け入れ、外出等は控えている。自治会の情報は回覧板等で把握し、地域住民からの農産物等の差し入れを受けたり、高齢者福祉及び認知症ケアに関する相談等には丁寧に助言するなどの交流は継続している。

管理者及び職員は理念や法人の行動指針に沿って、「自分の親にして欲しいケア」を意識して、利用者の誇りや尊厳を大切にしながら、その人らしい生きがいのある暮らしの支援に努めており、日々、残存能力や自己決定を尊重し、心身の状況に配慮した利用者主体のケアに取り組んでいる。利用者や家族からの意見や要望に対しては、職員全体で改善に取り組んでおり、アンケートの回答からも、家族との厚い信頼関係が窺える。

管理者及び職員は、日頃から気軽に意見が言い合える信頼と協力の体制を構築しており、日頃の支援業務の中やミーティング、部署会議、「何でも提案書」等で職員の意見や要望を把握して改善に取り組んでいる。スキルアップを図る研修の実施や業務への助言・指導を積極的に行い、勤務シフトには有給休暇の取得促進や個人的事情、希望等を可能な限り反映させるなど、働きやすい職場環境の整備に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を意識できるよう掲示し、また、こだま病院行動指針と唱和し、実践につなげている。	利用者が「地域の中でゆっくり、楽しく過ごしながら、その人らしい生活が出来る」をホームの理念に掲げ、法人の「行動指針」やケアの姿勢目標と共に玄関や事務室、職員トイレ等に掲示し、朝のミーティング時には唱和も行って周知を図っている。部署会議等でケアの振り返りや意見交換を行って、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	買い物等地域商店を利用し、近隣より野菜や野菜苗を頂いたり、自治会に加入し繋がりのある地域交流をしている。	回覧板等で地域の情報の把握に努め、通常は地域の会合やイベントに参加し、散歩や買い物時には地域の人との会話を楽しみ、家族・友人の面会、施設見学、ボランティア、農産物の差し入れ等を積極的に受け入れるなど円滑な交流がなされているが、現在は、新型コロナウイルス感染予防のため買い物や外出、外食、ボランティアの受け入れ等は自粛している。園庭の散歩や回覧板、農産物を頂くなどの交流や住民から寄せられる相談への対応等は継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進委員会で参加された家族、地域代表者に事業所に対し、理解が深まる取り組みをしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を定期的に行い、事業報告を通しグループホーム内の取り組み、入居者の生活状況を報告し意見交換を行っている。	会議は隔月毎に開催し、家族や住民代表、民生委員、行政職員、有識者等が出席して、ホームの行事や利用者の状況、ヒヤリハット等を報告し、委員からは感染症予防や災害時の対応等の質問等が出されて意見交換している。新型コロナウイルス感染の予防に配慮して会場を法人母体の医療機関の面談室で開催しており、出された要望等は部署会議等で検討してサービスの改善に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進委員会時に事業所の状況報告をし意見を頂き、相談事やわからない事等助言、指導を受け協力関係の連携に取り組んでいる。	介護保険の更新や各種制度の申請、報告に関する事、運営やケアに係る相談、生活保護受給の利用者の処遇に関する連携、感染症予防に関する協議等を行い指導や助言をもらうなど、市担当者とは密に連携を図り、サービスの向上に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティングでの話し合い、学習会を開いて正しく認識できるようにし、拘束のないケアに取り組んでいる。	法人全体の研修会やホーム独自に年2回勉強会を実施して周知を図り、ミーティングや部署会議等でケアの振り返りや意見交換を行って拘束の無いケアに取り組んでいる、拘束適正化の指針を整備し、委員会も定期的（年6回）に開催している。昼間は玄関等の施錠は行わず、見守りや寄り添いで利用者の思いを把握し、「親にして欲しいケア」を心にとめて、尊厳や個性を大切にしたい支援に努めている。不適切な言動が見られた時は職員間で注意し合うなど、日頃から改善に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	e-ラーニング学習会で学び職員間のコミュニケーションを大切にして虐待の防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業については学べる機会はあるが、成年後見制度については理解が浅いため学ぶ機会を持つようにしたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には重要事項説明を行い、入居時ご本人ご家族へ疑問点などがある場合は説明をし理解や納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し意見、要望を頂けるようにし、また電話などで思いや意見を頂き職員間で共有し改善に努めている。	利用者の思いは日頃の会話や仕草、サイン等で理解し、家族からの意見や要望は面会や電話、手紙、運営推進会議、お便り（写真等を添付）等で利用者の状況を伝えながら把握して改善に繋げている。現在、新型コロナウイルス感染予防に配慮して行事の実施の際は家族の参加は控えてもらっており、面会は十分な間隔を取って短時間で رفتったり、テレビ電話を活用するなど工夫している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理会議で提案できる機会や、部署会で、なんでも提案書を活用し職員の意見を積極的に聞き反映されている。	管理者及び職員は気軽に意見を言い合える信頼関係を築いており、日頃の業務の中やミーティング、部署会議、「何でも提案書」等で意見や要望を把握し、個人的事情や悩み等も聴取している。出された要望等は協議して改善を図り、スキルアップのための研修の実施や資格取得へのバックアップ等に努め、勤務シフトには有給休暇の取得促進や個人的事情等にも配慮するなど、やりがいと働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は管理会議に参加し法人全体の把握に努めている。定期的な昇給、各種資格手当等制度、有給休暇を積極的にとれるなど支援されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人全体でe-ラーニング学習会への取り組み、自分の興味がある研修に参加できるよう情報提供をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者はグループホーム連絡協議会にリモートで参加し、また他事業者と電話での情報交換もあり質の向上に繋げている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
経師義					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居予定時より見学の時等に、本人の思いを理解し、今までの生活状況を情報収集し安心して生活して頂けるよう支援に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	信頼関係を築くことが最も重要である認識のなかで、家族の想いを把握し不安なこと困りごとなどを話せる関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを開始する前に本人ご家族から思いを聞き取り、課題検討し、ケアプランを作成している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活の中で共に支えあい自信や役に立っていると実感に繋がるケアに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族にも配慮しながら、家族通信、電話等で状況報告し、本人ご家族の関係を保ちながら支援をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前より利用されている理髪店や美容院の利用等関係継続するよう努めている。	利用者毎の馴染みの情報を把握して、通常は近辺の散歩や買い物、通院、一時帰宅、外食、墓参等を家族の協力を得ながら意向に沿って支援しているが、現在は新型コロナウイルスの感染予防に配慮して買い物や外食、外泊等は控えてもらい、家族とは短時間の面会や電話、テレビ電話で話し手紙の取り次ぎにも努めて関係を継続している。馴染みの訪問美容やディサービスへの通所、農産物の差し入れ等の交流は継続している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の時間も大切にしながら入居者様同士話しやすい環境を提供し今後の関係性も良好に生活できるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後も来所くださったり、また必要に応じてこれまでと変わらない支援ができるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや意向を把握し一人一人の立場になり、個別ケアに努めている。	利用者の日頃の会話や仕草、独自のサイン等から思いを把握し、利用者主体の安全で生きがいのある暮らしを家族の意向も伺いながら支援している。利用者が希望する趣味（ぬり絵、雑誌、花の写真鑑賞等）や食材の下処理、片付け、菜園での作業等の取り組みを自己決定や残存能力に配慮しながら個別に支援し、成果には評価や感謝の言葉も添えて達成感が得られるように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、これまでの生活歴の情報また、フェイスシート活用し、職員間で情報共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身の状態やIADLへの取り組みをし、生活記録やミーティング等で共有し把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族に意向を伺い、主治医の意見をまとめカンファレンスを行って計画が作成されている。	ケアプランには、利用者や家族の意向を丁寧に把握し、主治医の指示やモニタリング、カンファレンス時の職員の意見等を基に、残存機能や習慣、趣味等にも配慮した介護計画を作成している。利用者の状況変化時には実態に沿った計画に変更し、家族の理解を得てからケアに取り組んでおり、実施状況は申し送りや業務日誌、状況チェックシート等で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を記録し、必要に応じて、その都度カンファレンスを行い情報共有をしケアプランの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々状況に応じ、できるだけ対応できるように努め、法人内での多職種との協力もあり柔軟な支援に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行政の広報誌などにより地域資源を把握し楽しんでいただけるよう努めたい。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体病院での定期受診があり、他専門病院での受診が必要な場合も協力医療機関との連携もとれ、適切な医療が受けられている。	本人・家族が希望する医療機関での治療を支援しており、利用者の殆どが協力医療機関を主治医にしている。主治医による定期受診が実施され、他科受診は家族と連携して同行している。協力医療機関との医療連携の体制も構築し看護師の訪問も週1回実施されて、適切な医療及び健康管理が受けられている。利用者の病状や受診結果は家族にも密に報告して状態を共有しており、利用者及び家族の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携加算による母体病院から看護師による週1回の訪問、経過報告書等により主治医、看護師と情報提供し連携を取りながら対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時に主治医、看護師等と情報交換や相談を行い、定期的な面会を行い安心して治療ができるように努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重要事項説明書の内容を家族へ説明をしここで出来ること理解頂き、主治医、看護師と連携し支援に取り組んでいる。	重度化や終末期に対する方針を重要事項に整備し、利用開始時に本人や家族に説明して理解を得ており、状態の変化に応じて意思を再確認している。重度化した時点で主治医より病状が伝えられ、家族の意向を充分に聞き取り、主治医や看護師と連携して可能な限り希望に沿った支援に取り組んでいる。殆どの利用者が終末期には医療機関での入院受療を希望している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時はマニュアル沿った体制を整えており、定期的に訓練をし消防署からAEDの使用方法の受講を受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に部署内訓練、消防署合同の避難訓練を行っている。自動通報装置には近隣住民も登録して協力体制を築いている。</p>	<p>年2回、夜間想定を含む火災発生を想定した訓練を消防署の協力も得て実施し、法人本部とホームとの合同の水害訓練も実施している。日頃から避難経路等を確認し消火器等の点検実施、災害の報道を基に意見を交わすなど防災への認識の共有に努めている。自動報知装置には地域住民も登録され、階上の入居者との協力体制も構築している。スプリンクラーやラジオ、卓上コンロ等を備え、食糧品、飲料水、介護用品を備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、プライバシーに配慮しその場にあった声かけやケアに努め、また個人に関する情報等の保護も心がけている。	利用者の人格や誇りを損ねる事の無いように研修の実施や日常的にケアの振り返り、意見交換等で認識を共有し、利用者の生活歴や背景、習慣等にも配慮しながら自己決定を尊重した支援に努めている。居室やトイレ、浴室等はプライバシー保護に配慮した構造になっており、衣服の着脱や排泄、入浴時の支援は、羞恥心にも配慮して適切な声のトーンや言葉遣いで取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	可能な限り自己決定できるよう雰囲気や話しかけに配慮した支援ができるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の会話の中で本人の思いや希望を聞き入れ、決まり事の中でもその方のペースに沿った生活ができるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の意向を伺いながら一緒に考え準備をし、髭剃りや整髪の手だしなみ等気を付けて支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みの物、季節を感じる料理等を献立に取り入れ、野菜の下ごしらえ、食器洗い、トレー拭きを一緒にしている。	食事は利用者の何よりの楽しみで、関心も高いことから、好みや栄養バランス、形態、季節感、疾病に伴う摂取制限等に配慮して調理しており、利用者も食材の下処理や片付け等を楽しみながら一緒に行っている。正月料理や誕生会、敬老会等の行事食や園庭での花見弁当、開設記念日の会食等、食事が楽しみとなるよう日々工夫しているが、新型コロナウイルスの感染予防のためレストランでの外食や家族との会食は控えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量を記録に残し把握できるようにし、栄養バランスについては、管理栄養士より助言を頂き支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケア、義歯洗浄等口腔状態に応じたケアを行って清潔保持をしている。必要に応じて歯科受診をし助言を頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し声かけを行い、夜間もトイレで排泄ができるように支援している。	各利用者の排泄パターンを把握し習慣にも配慮した声掛け等で、殆どの利用者がトイレでの排泄が出来ている。利用者の状態に応じた介護用品や方法を介護計画に反映させて改善に努めており、便秘の予防に繊維の多い食材や乳製品、オリゴ糖、水分の摂取及び運動量等に配慮し、主治医にも相談しながら対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維の多い食材や乳製品、オリゴ糖等を摂取してもらい、体操運動など取り入れ、排泄状況では主治医の指示を受け下剤服用も取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本週3回の入浴できるように支援しているが、本人の希望や体調に合わせて支援している。	基本週3回の入浴を支援しているが、排泄時の汚染等には、その都度、シャワー浴等で清潔を保っている。順番や温度、時間、習慣、同性介助等を柔軟に、個浴でゆっくり楽しんでもらっており、入浴後は水分補給や皮膚疾患の手当を行っている。入浴をためらう利用者には無理強いしないで、時間の変更や声かけ等の工夫で、利用者自身の意欲を待つように努めており、入浴が職員と利用者とのコミュニケーションの場にもなっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はなるべくホールで過ごしていただき、午睡も長時間にならないようにし、起床、就寝は一人一人の習慣に合わせて支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報紙をファイルし情報共有して、服薬時はダブルチェックや本人確認をし、薬の変更後は、経過観察し主治医へ報告を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴から情報共有し得意な事、嗜好、趣味等を把握し、楽しみのある日々を過ごせるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルス感染対策により、日常的な外出支援はされていない。	日常的に園庭やホーム周辺の散歩等を楽しんでいるが、新型コロナウイルス感染予防の為、買い物や一時帰宅、墓参等の外出は控えてもらっている。また地域のイベントの殆どが中止され、ホームの行事も十分には実施できない状況であるが、園庭の野菜や花を愛でたり、昔の音楽やビデオを楽しむなど、工夫して気分転換を図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に事業所で預かっている。少額ではあるが所持されている方は希望に応じ購入できるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙のやり取りは殆どないが電話やLINE電話のやり取りはできるように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは広く明るい利用者の利便性に配慮され設置されている。季節の花、野菜を植えて季節を感じていただけるように支援している。	利用者が昼間の殆どを過ごすリビングは明るく余裕あるスペースが確保されており、動線や利便性に配慮してテーブルやソファ、仏壇等の家具が設置されている。随所に活花や七夕飾りなどの利用者の作品が飾られ、台所からは調理の音や臭いが感じられて家庭的で和やかな雰囲気となっている。清掃や空調、衛生管理等が徹底され、不快に感じる音や臭いもなく、利用者は四季を感じながら穏やかに過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	広い空間でソファ、テーブルを置きゆっくりと思いつきに過ごしていただけるように工夫している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は洗面台・トイレ・タンスは備えてある。本人の使い慣れた物寝具等持ち込まれ、また写真を飾ったりし本人が居心地よく過ごせるように工夫している	各居室は余裕あるスペースが確保され、ベッドやエアコン、クローゼット、洗面台、トイレ、ナースベルが備えてある。過度な支援にならないように利用者の意向を確認しながら整理整頓を支援し、テレビや家族写真、寝具、小物等が持ち込まれ、利用者自身の作品や長寿祝で頂いた物等も飾って居心地良く安心して生活できる、その人らしい雰囲気の居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー構造で手すりが設置されて安全に移動できるように工夫されている。各居室は表札や浴室は暖簾・共同トイレは使用中の札と見て解るように工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない